

兵庫県内での 特殊詐欺被害

多発中!!

〔特殊詐欺被害の現状は?〕

令和3年7月末における特殊詐欺の認知件数は483件、被害額は約6.4億円です。前年同期と比較すると、認知件数はマイナス87件、被害額はマイナス約3億円といずれも減少しているものの、依然として高い水準で推移しています。

〔どんな手口があるの?〕

事例① 医療費等の還付金があると言い、金銭をだまし取る手口



〇〇市役所の者ですが、医療費の還付金手続きがあります。以前に関係資料をお送りしましたが、ご覧になられましたでしょうか。還付金の支払いは今日までなので、すぐにATMに行って手続きをしてください。ATMに着きますと再度、コールセンターに電話をするようにお願いします。

身に覚えはないけど、お金が返ってくるのであればすぐにATMへ向かいます。



その後、ATMでコールセンターに電話をかけると、犯人からウソのATM操作方法を教えられ、犯人の口座に振込みをさせられます。

事例② パソコンに偽の警告画面を表示させ、金銭をだまし取る手口



パソコンでインターネットを閲覧中、突然、警告音が鳴り「ウイルスに感染した」などの偽の警告画面が表示されます。

画面表示の連絡先に電話すると、「ウイルスに感染しているので、ウイルスを除去するためのサポート料金が必要。コンビニで電子マネーを購入して、裏面の番号を伝えてください。」などの指示を受けます。



その後、電子マネーの裏面番号を伝えるも、「手違いがあり手続きが完了しなかった。」などと言って、繰り返し電子マネーを購入するように要求される場合もあります。

では、どのようにして詐欺を防いでいけばいいの?





誰でもできる！特殊詐欺被害対策ポイント



対策1 非通知の電話に出ない・かけない

非通知の電話には出ないこと。
知らない番号からの電話は、インターネットなどで、その電話番号を確かめてから、必要に応じて折り返し電話すること。



対策2 常時留守番電話に設定

常時留守番電話に設定し、相手が確認できるまで応答しないようにすること。
家にいるときも、留守番電話に設定しておくこと。



ただいま、留守にしております。

対策3 防犯機能付き電話機への買い換え

相手に警告メッセージを流す機能が付いた固定電話機や、録音機能のついた固定電話機、非通知・迷惑電話の自動ブロック機能のついた固定電話機もあります。
ぜひ、購入（買い替え）を検討してみてください。



対策4 ご近所、家族間での声かけ

家族やご近所でのつながりが重要です。
些細なことでも、声を掛け合って、協力し合うことが、詐欺被害未然防止の第一歩となります。



もし電話に出てしまったり、かけてしまったり。。

もし電話に出てしまったり、かけてしまっても一人で悩まない！！
すぐに県の相談機関、警察などに相談してください。



☆ まちづくり防犯グループ、まちづくり推進員などの特殊詐欺対策事例 ☆

- ・兵庫県警発出の特殊詐欺ニュースなど、広報チラシを高齢者宅に配布または回覧し、情報共有を図っている。
- ・迷惑電話防止機能付き装置（録音チュー）を配布し、高齢者に注意喚起を促している。
- ・青色防犯パトロール車で走行しながら、特殊詐欺被害防止のポイントについてマイク広報している。
- ・兵庫県警メール配信サービス（ひょうご防犯ネット）の情報を一覧化し、町内で回覧している。
- ・警察官を講師に招き、講演会を行ってもらう。
- ・高齢者宅へ訪問し、注意喚起を行う。

一人ひとりが危機意識を持つことが重要です。
皆さんの力で、特殊詐欺被害をゼロにしましょう！！

